



# 陣内後 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESING WORKS /2008/All Rights Reserved

2013年4月-5月号  
Vol.31

## 支援者の皆様へ

### ブラジルでの2週間

支援者の皆様、こんにちは。いつもお祈り、ご支援を心より感謝いたします。今回はレターの発送が通常より遅くなってしまいましたことをお詫びいたします。3月に私は、DNA Forum 参加と、現地での働きを視察するためにブラジルに渡航しました。トランジットを入れると片道40時間を超える移動時間に少々疲れを覚えました。人生で初めて南米大陸に足を踏み入れ、充実した2週間で過ごさせていただきました。お祈りくださった皆様に、心より感謝いたします。

ブラジルの人口は現在約二億人、国土面積は日本の22.5倍の約850万平方キロメートル。人口、国土面積共に世界で第5番目の大国です。近年の経済発展は目覚ましく、BRICs諸国のひとつに数えられており、戦後高度成長期の日本を思わせるような活気があります。「聖書的世界観を土台にし、教会が全人的に地域社会に仕える」という啓発とトレーニングを行ってきたDNA=Disciple Nations Allianceの働きは1997年にペルーで開かれたビジョン・カンファレンスを皮切りにして、以降中南米、アジア、アフリカなどの開発途上国に急速に拡がり、多くの実を見てきました。ブラジル中南部の都市ベリオリゾンで開催されたフォーラムにおいて、私は各国から集まった約100名の参加者に日本の大震災とFVIの支援活動からの学びを分か



中南米をはじめ世界中から集まったDNAフォーラム参加者

ち合いました。後半はサンタカタリーナ州にいる、日系ブラジル人とアメリカ人の夫婦と5人の子どもたち-ファビオ・ツカヤマ宣教師家族の自宅にホームステイし、彼らの宣教の実践から学ぶ機会を得ました。

中南米の抱える課題も強みも、アジアやアフリカのそれとは性質的に異なっており、多元化する21世紀の世界で、これから日本の私たちが彼らから学ぶべきことは多くある、と感じました。

## 活動報告

### 奉仕と活動（2月～4月前半）

皆様の祈りに支えられ次の場所で働きをさせていただきました。関係した方々に感謝いたします。

月日	内容	場所
2月10日	礼拝メッセージ	東京武蔵野福音自由教会
2月12～16日	教会巡回、フォローアップ	愛知県内
2月17日	礼拝メッセージ	ICBC（蒲郡市）
2月18～20日	JCMN サミットに参加	愛知県豊橋市
2月25～26日	FVI 役員会	群馬県嬬恋村
3月3日	礼拝メッセージ	練馬グレースチャペル
3月9～22日	DNA Forum と現地視察	ブラジル（ベロオリゾン／サンタカタリーナ）
4月8～12日	福島支援活動	福島県内（福島、郡山、南相馬、いわき）
継続的に	FVI 事務局の働き	練馬、立川、吉祥寺など各地

## 働きからの学び

### ブラジルで教えられたこと「教育の産物は何か？」

今回、ブラジル滞在中に「教育」という大きなテーマについて私は特に神から教えられました。経済成長を続けるブラジルでは、高度成長期の日本がそうであったように、子どもに高い教育を受けさせ富裕層にのし上がるチャンスを得ようと、国、地域、親、学校が一丸となって取り組んでいます。露骨に名言されないものの、教育は「将来より高い地位に着き、より金持ちになり、より多くの人を支配する人になる」ためのツールです。教育の産物は「リーダー」なのです。

DNA フォーラムの中で、多くの方々がそのような「世界が要求する教育」から子どもたちを救う、という理念と実践を分かち合いました。ペルーのある教育者は、聖書に基づく教育プログラムを作成し、そのプログラムは現在数多くの公立学校にも採用され、生徒の誹りが減り素行が改善される、などの結果を生み出しています。

後半にホームステイさせていただいたツカヤマファミリーは、3年前にアメリカの教会から宣教師としてブラジルに遣わされました。当初は未伝道部族へのアウトリーチなどの宣教活動をしていましたが、次第に「この国の本当の問題は教育にある」ということを神から教えられました。親たちは「将来子どもが少しでも良い思いが出来るように」彼らを学習塾に通わせ、アメリカの大学に送ろうと躍起になっています。高い教育費を稼ぐために両親は共働きをし、親とのアタッチメントを築けずに成長し、競争社会の中で高いセルフイメージを持ってなくなった子どもたちはドラッグ、非行、十代の妊娠などの問題にぶつかっており、その姿は数十年前の日本を彷彿とさせます。ツカヤマファミリーは、学校に行かせず自分たちで子どもを教育するホームスクーリングの道を選びました。彼らの5人の子どもたちは、私がこれまでに会ったどんな子どもたちにも劣らず聡明で、自由闊達で、主を愛し、他を思いやる社会性に富んでいました。

あるとき、ブラジルでも有数の大きな教会の、「成功した牧師」が、ファビオ氏に「私は教会員に良い父親、母親として聖書に従って子どもを育て、社会に送り出してほしい。だから私の教会の方々に、聖書に基



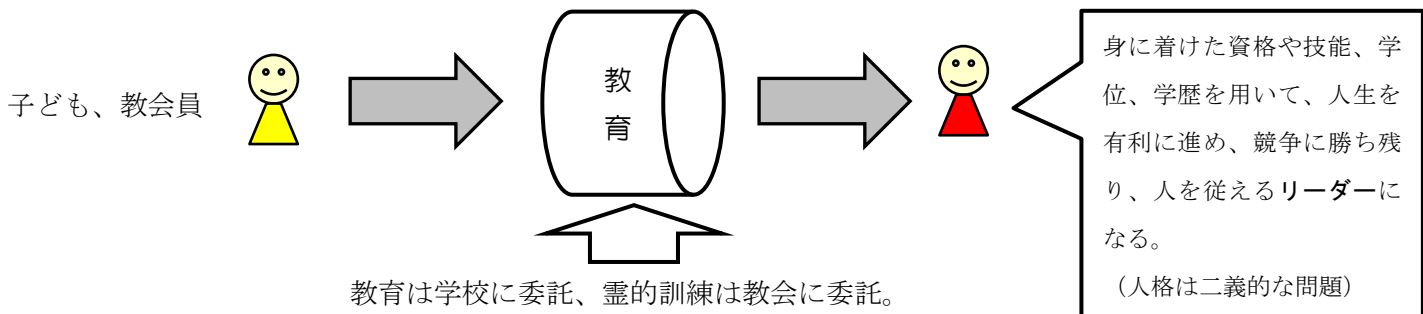
ファビオ、エリザベス夫婦、5人の子もたちと

づき子どもを育てることについて教え励ましてほしいのです。」と頼みました。牧師はこう続けました。「でも私にはその資格がないのです。私の十代の子どもたちは、いま薬物依存のリハビリ施設にいます。」

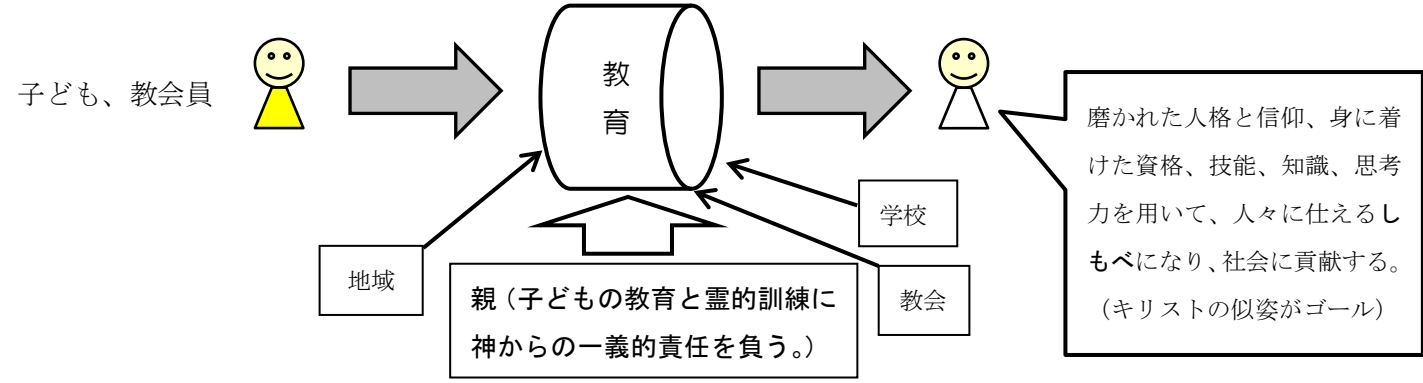
現在ツカヤマファミリーは、「教会の内部からこの問題に取り組む」ために、ブラジル各地の教会で、子育てについての訓練会を展開しています。ツカヤマファミリーも、DNA で出会った中南米の教育者も、今回フォーラムで教育について話したボブ・モフィット氏も、みな共通のコンセプトを異なる言葉で私に分ち合ってくれました。それは、「教育の産物はしもべである」ということでした。

私たちの殆どは、様々な形で「教育」に携わっています。親として子どもを教育し、祖父母として孫を教育し、教会は集う人々を弟子化（イエス様の言葉を行うよう「教育する」マタイ 28：20）し、学校教育では生徒を教育し、地域社会は地域の子どもを育みます。また大人はみなその背中で、社会の子どもたちに「無言の模範」を示しています。では、そのゴールとは何でしょう？教育が 100%成功した姿はイエス様です。聖書が教える「完全な人間の姿」は、イエス様だからです。そしてイエス様は「仕える」ためにこの世にられました（マタイ 20：28）。イエス様は「しもべ」だったのです。つまり、聖書的な教育の産物は「しもべ」ということになります。教会がどのような訓練方法を用いるか、ホームスクーリングか公立学校か、という方法論の問題ではありません。ある教会は小さく、弟子訓練のための建物もなく教師も雇えないかもしれません。ある親は子どもを私立校に送る経済的な余裕がなく、ある親はシングルペアレントかもしれません。でも大切なのは、教会のサイズ、親の経済力、教育の方法論ではなく、その教育の結果、イエスのように人に仕える「しもべ」が生み出されているかどうかということが、教育の成果を測る唯一の聖書的指標なのだ、というのは私にとって啓示でした。現在の FVI や教会の働きにも、将来親として子どもを授かる際にも、大切な指針としていきたいと思われました。

この世の教育のモデル＝産物は自分のために人を使いお金を稼ぐ利己的な「リーダー」



聖書が教える教育のモデル＝産物はイエスのように人に仕える利他的な「しもべ」



私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい。申命記 6:6-7

## 祈りの課題

- ◇私たち夫婦が、聖霊の助けにより「仕えるイエス様の姿」に近づくことが出来るようにお祈りください。
- ◇FVIの全国各地での働きを通して、教会を通して地域に神の心が実行に移され、神の国が前進していくように。
- ◇6月、7月にアフリカに行きます。現地団体とパートナーシップを深め、次につながる関係を構築できるようにお祈りください。

## 今後の予定

月日	内容	場所
4月28日	礼拝メッセージ	練馬グレースチャペル
5月2～4日	福島未来会議4～全国聞き屋サミット～	国立磐梯青少年交流の家（福島県）
5月18日	隣人を愛する習慣づくりセミナー	高座教会（大和市）
5月31～6月2日	韓国ユースビジョンカンファレンス	ソウル（韓国）
6月5～7日	関東学院高校1年生修養会	神奈川県
6月10日～7月16日	現地パートナー団体視察	エチオピア、ガーナ
8月16～21日	韓国ビジョンツアー	韓国
9月21日	WFD安曇野大会	長野県安曇野市
9月27日	WFD那須野ヶ原大会	栃木県大田原市
10月下旬	WFD岡山大会	岡山県岡山市
随時継続的に	F V I 事務局の働き	練馬など各地

## 連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」  
Email shun@karashi.net ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

## 支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援にご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座  
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」  
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

- \*振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- \*2カ月に一度、プレイヤーレターに2枚（2か月分）お送りさせていただく振替口座の振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封させていただきますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。
- \*Prayer Letterの購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。